

羅針盤

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL
教職を目指す学生・卒業生のために

COMPASS

第103号 2014.10.25(土) 発行

関西外国語大学
教職教育センター

SCET

教採2次試験今年も大健闘です。

合格者の皆さんからその秘めた奥義を伝授していただこうと考えています。

例えば、英語の力をどのように伸ばしたか。ボランティアで何を学んだか。クラブや部活動、留学等様々な体験を如何に活かしてきたか。日常の授業はどうしてきたか。成功の裏にはきっと秘めた努力が隠されているものと思います。その努力から自分なりに見習うべき点を見つけて、役立ててください。

以下、寄稿を順次本誌面でご紹介していきますのでご期待ください。

【合格体験記】速報第2弾

西元亮人さんには、前号102号に登載のため、ご多用の中、急ぎ寄稿して頂いたところ、編集のミスで103号の掲載となり、お詫びとお礼を申し添えておきます。(岡澤潤次)

西元 亮人 さん

奈良県 中学校 英語科 合格

国際言語学部 国際言語コミュニケーション学科 4回生

「集中・粘り強さ・仲間が合格へのカギ！」

この度、奈良県の中学校英語科で合格をいただきました。先生方、先輩方が100号以上に渡り歴史を紡いでこられたこの「羅針盤」に私の合格体験記を掲載していただけることはこの上ない喜びです。ありがとうございます。

私は去年の11月に少しずつ教員採用試験に向けての勉強を始めました。正直、一喜一憂の連続でした。でも、最後には合格を勝ち取りました。そのときから心がけてきたことを3点にまとめました。羅針盤を「愛読している」後輩たちの一助となれば幸いです。

①採用試験対策中心の生活

何と言ってもやはり合格のポイントは「採用試験に集中する」。せめて4年の春学期からは採用試験対策中心の生活を心がけるべきだと思います。もちろん授業に出席するなど大学生として当たり前のことはしなければいけませんが、アルバイトやサークルなどは極力減らすほうが良いでしょう。“今の楽しみ”を取るのか、“将来の夢、目標”を取るのか。私は自分自身、その見極めはできていたと

思います。今必要なことは何なのかを考えることはとても大切なことだと思います。

過去は変えられませんが、現在・未来は変えることができます。思い立ったらすぐ行動！「どうしようかなー」と悩んでいるうちに時間は過ぎていきます。私は実家から1時間半かけて通っていたので、電車に乗っている時間ももったいないと思い参考書を開いたり問題を解いたりしていました。1分1秒を無駄にしないように、そして1分1秒を次につなげていけるような時間の使い方、生活を心掛けてほしいと思います。それが大きな力になったりするんです、意外と。

②英語力の向上

私はこれが一番大切だと思います。皆さんは「教師」のなかでも「英語科の教師」になるのです。したがって英語をしておかないと後々大変な目にあうと考えています。私は TOEIC, TOEFL のスコアアップのための勉強や、大学の講義、ネイティブの先生や留学生と積極的に話すことで英語力を伸ばしてきました。また2年の終わりにはプリンダース大学での5週間の海外教職英語研修にも参加し、この経験は採用試験でも非常に役に立ちました。英語はちょっとな…と思うそのあなた！今こそ変わるチャンスです。遅すぎることはありません。今からやれば絶対変わりますから。

ちなみに先輩からはこのようなスコアを目標にきなさいと言われていました。今後英語教員は自身の英語力を公表する流れになると言われています。伸ばすなら今のうちです。(もちろん全員がこれをクリアしろ！というわけではありません。あくまで目安です。)

中学校志望：TOEIC 730点・TOEFL 550点・英検準1級

高等学校志望：TOEIC 860点・TOEFL 600点・英検1級

③共に戦う仲間を見つける

学研都市キャンパスではサイスペ(教採対策講座)が開かれており、私は毎回欠かさず参加しました。その上に教師をみざす有志を募って勉強会をし、サイスペと合わせて週4日以上面接練習などを春休みから行ってきました。目標が同じ仲間、志が高い仲間と共に勉強し、切磋琢磨してきたことで力がついてきたと思います。

また採用試験に合格した先輩方にもたくさん協力していただきました。関西外大の教職ネットワークはすごいと思います。それを活かさなければもったいない。ぜひ活用しましょう。(先輩方、これからも後輩のためにご指導のほどよろしくお願いいたします。)

自分ひとりでは採用試験は乗り越えられません。仲間と共に粘り強く頑張る。これができれば怖いものはありません。不安な時は仲間が助けてくれる。嬉しいことはみんなで分け合える。そういう仲間を作ってほしいと思います。なかでもサイスペや中宮キャンパスの夜スペは「勉強の場」だけでなく「心の支えの場」にもなるはずです。

正直に言うと、合格までの道のりは決して順風満帆ではありませんでした。しかし、何かを勝ち取るにはそんな簡単には絶対いきません。私の場合も何度も挫折してそのたびに這い上がる粘り強さがあったからこそ、この結果をつかみました。後輩の皆さん、決して楽をしようとは思わないでください。「最低限やれば大丈夫やろ」というほど甘いものではありません。後からいくらでも楽はできますが、必死に勉強できるのは学生のうちだけです。後々皆さんが自信をもって「俺は今まで必死に勉強

してきたんや！」と思えるほど頑張っしてほしいです。

最後になりましたが、私たちのためにいつもご協力いただいた学務課や教職教育センターの方々、いつも遅くまで練習に付き合っていたいただいた先生方、様々な相談に乗っていただいた先輩方、そして何より今まで支えあってきた仲間感謝します。素晴らしい環境の整った関西外大だから、夢を叶えられた。同じ志を持った仲間が集まって勉強したから、乗り越えられた。そう強く感じています。本当にありがとうございます。

西岡 将生 さん 和歌山県、愛知県 中学校 英語科 合格

千葉県 中・高 英語科 合格 英語キャリア学部 英語キャリア学科 4回生

「自分らしく！」

この度教員採用試験に合格することができました。私の合格までの道のりを紹介します。

2年生

- 5月 教員採用試験対策合宿参加
- 6月 仲間とともに教師になるための自主ゼミをつくる（6限目に週2回活動）
- 6月～8月 大阪府中学生サマー・セミナーに参加
- 8月 東北復興支援ボランティアに参加（1週間）
- 10月～11月 小学生まなびングキャンパスに参加
- 10月～12月 東京アカデミー教職教養対策講座に参加
- 12月 教員採用試験対策合宿に参加

3年生

- 2月～5月 留学のための予備教育
- 6月～7月 KTAP（枚方市内の小学校）
- 6月～8月 大阪府中学生サマー・セミナーに参加
- 8月～5月 アメリカ ユタ州立大学に留学（英語リベラルアーツ留学）
日本語学習支援、障がい者支援、小学校での授業補助のボランティアに参加

4年生

- 6月～8月 大阪府中学生サマー・セミナーに参加（リーダー）
- 7月～8月 教員採用試験

この道のりを今振り返ってみて、よかったなと思うことが2つあります。

1つ目は、たくさんのボランティア活動に参加したことです。ボランティア活動を通して、たくさんの人と出会い、人間力、教える英語力、人と関わる力を高めることができました。特におすすめの

ボランティア活動は大阪府中学生サマー・セミナーです。

2つ目は、留学に行ったことです。留学を通してたくさんの新しいことに出会いました。留学に行かなくても、教員採用試験には合格できますが、私は行くことを勧めます。

皆さん、あくまでこれは私が通った道のりです。皆さんには皆さんの道のりがあります。たくさん悩んで進んでいってください。私もたくさん悩み、苦しみました。自分らしく頑張ってください。応援しています。

末筆になりましたが、留学帰りであせっていた私を最後の最後まで指導して下さった角野先生、1年生の頃から授業、ボランティア活動を通して熱心に指導して下さった松宮先生、常に笑顔で試験前に励まして下さり、また熱い指導をして下さった岡澤先生、その他たくさんの先生方、先輩、後輩、そして仲間を支えられ、合格することができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

木村 有希 さん 新潟県、大阪府 高校 英語科 合格

外国語学部 英米語学科 4回生

「頑張ってきた事が報われて本当に嬉しい！」

はじめまして、こんにちは。この度、様々な方々からのご尽力の甲斐もあって、新潟県と大阪府の高等部教員採用試験に合格を致しました。まずは、いろいろとアドバイスやご指導を下された先生方、一緒に勉強をした仲間感謝をしたいと思います。本当に、ありがとうございました。

合格体験記といわれてもあまり大それた事はしていないのが、私の今の心情といったところです。というのも、私は4回生になるまで英語教師を全く志していなかったからです。しかし、去年の交換留学でフィンランドに行く直前に、この大学のプログラムの一つである日本語教師インターンに行く事が経済的に困難になってしまいました。そこで、留学がおわりに近づいていた頃に周りの友人に影響される形で就職活動と平行して教員採用試験を受けようと決意しました。なので、私がこれから書く事は教師をずっと志しておられる方にはあまり読んでいて気分の良いものではないかもしれませんが、どちらかといえば就職と教師の間で揺れている人に読んでもらいたいです。

皆さんに言いたいのは、就職するか将来別の仕事に就くか迷っていてもかまわないという事です。また、就職活動と教員採用試験、または留学・就職活動・教員採用試験を平行しても頑張り次第でなせるという事です。今から勉強や準備をはじめるのは、私にとってみれば優等生だなと思います。ただ、本当に教員採用試験に受かって教師として一定期間だけでも働きたいのであれば、“本気”で取り組んでほしいと思います。私が言う“本気”とは「試験に合格する為に本気で勉強する」という意味ではなく、「質の高い教員になるために本気で勉強する」ということです。正直なところ今でも私は、将来的には日本語教員になりたいと考えています。しかし、一時的とは言っても英語教員になるわけですからこの4月からは教える生徒を全力で支えるため、そして質の高い教員になるため本気で勉強もしましたし、公立学校の教育について全力で学んで吸収するものは吸収したつもりです。

具体的にどんな事をしたかは、就職活動と平行していた事以外、周りとは大差ないと思います。4月の留学から帰ってきた日から角野先生の授業を聴講させてもらい、すぐに前からしていた日本語教職のボランティアと平行して英語科教職のボランティアをはじめました。平日の昼間はボランティアと就職活動で予定が埋まってしまい、教職教養や教員採用試験の勉強は夕方から夜にしていました。具体的には、夜スペシャルが終わった後などに毎日、友人たちと教育についてのディスカッションや面接練習などです。特に、面接で質問し合った内容を皆で話し合ったのがとても自分が教師になる上でためになったと思います。自分が英語教育についてあまり知らない分、周りの友人からの助言などはとても新鮮で実りの多いものばかりでした。先生方が口を酸っぱくして言っていると思いますが、周りとの連携は本当に大切な事だと思います。

4月から今日まであつという間でしたが、自分が頑張ってきた事が報われて本当に嬉しく思っています。そして、留学・就職活動・教員採用試験を平行して行おうとしている後輩に私の文書が励みになれば幸いです。

山田 祐香 さん 愛知県 中学校 英語科 合格

外国語学部 英米語学科 4回生

「教員採用試験について」

皆さん、こんにちは。この度、愛知県の合格をいただきました。私の教員採用試験合格までの経緯をお話しさせていただきます。

わたしは入学した時から教職課程を履修していました。小学生の頃から教員になりたいと思っていました。私にとって教職課程を履修するのは、ごく自然のことでした。しかし、TOEFLの点数のことを考えておらず、2回生で教職課程を履修することができませんでした。そのため、2回生の教職の授業を3回生で受講する必要があるし、留学は断念するしかありませんでした。留学に行っている友人もたくさんおり、自分に自信が全くありませんでした。しかし、それと同時に私の中に留学している友人たちには負けたくないという思いもありました。そのため、留学に行っていない仲間とともに、合宿に参加し、自主ゼミを作り、勉強をしました。

教員採用試験に向けて具体的に何をしたら、皆さんが気になるころだと思います。大きく分けて2つあります。1つは、ひたすら自分で勉強をすることです。受験する都道府県によって出題されるものが違います。それぞれの過去問題を確認し、傾向をつかんで勉強を進めてください。過去問題だけでなく、各都道府県のHPも必ずチェックしましょう。もう1つは、仲間とともに集まって勉強をすることです。グループごとに何をしていたかはバラバラですが、私たちのゼミでは、集まって新聞記事を使ったディスカッションを日本語と英語で行っていました。また、試験直前は自分たち同士で厳しく指摘しあいながら集団面接・個人面接の練習をしたり、自分たちに必要なことをその都度考えてしていました。最初から何もかもうまくいった訳ではありません。試行錯誤を重ねました。ディス

カッションで喧嘩になりかけたこともありました。やることはたくさんありますが、仲間とだから乗り越えることが出来ました。ぜひ、団結してともに切磋琢磨して成長してください。

最後に皆さんに言いたいことは、先生・先輩を信頼し、良いように利用して下さい。この言葉は、毎年の先輩がおっしゃっています。そして私自身も実行しました。確実に言えることは、先生方のおかげで合格することが出来ました。ただし気を付けておくべきことは、先生方が何かをしてくれるのではありません。先生方はたくさんのヒントをくださいます。実行するのは皆さん自身です。合格するか否かは、皆さんの実行力と忍耐力で決まります。皆さんが一生懸命であれば、周りは必ず力になってくれます。頑張ってください！

奥野 真央 さん 愛知県 中学校 英語科 合格

外国語学部 英米語学科 4回生

Go for it !

皆さん、こんにちは。この度、私は愛知県教員採用試験において、合格を頂きました。私が合格に至るまでに学んだことや経験を、採用試験をこれからに控える方々に少しでもお伝えできれば良いなと思っています。

まず、1つ目に私が大切にしていたことは「人とのつながり」です。私は短期留学から帰国してから採用試験が終わるまで、本当に周りの方々に助けられながら乗り越えられました。自主ゼミのメンバー、ボランティアのメンバー、先生方など、たくさんの方に助けられました。私は3回生の12月の頭に留学から帰国しましたが、その時にはすでに国内組のメンバーによる採用試験に向けた自主ゼミが出来ていました。私は内心焦りましたが、焦っても仕方ないので、とにかくみんなに追いついて頑張ろうと決めました。このメンバーとは2次試験が終わるまで切磋琢磨し合いました。また、先生方には本当にお世話になりました。授業や夜スペ等はもちろんのこと、自主ゼミにも来ていただいてご指導いただきました。そして、先生方の言葉にはしっかりと耳を傾けてください。また、採用試験直前の本当に苦しいときに話を聞いてくれたのは先生方でした。仲間とともに、先生を信じて努力すれば結果はついてくる、本当にそう感じます。

2つ目は、「時間」です。頭ではわかっているけど時間の管理をしっかりとすることは難しいと思います。多くの方はボランティアをしたり、教育実習があったりすると思いますが、その中でいかに効率よく勉強できるかです。私は4回生の春学期には小学校へボランティアに行っていました。また、6月には教育実習、6月～8月にはサマー・セミナーにも参加していました。もちろんボランティアも教育実習も学ぶことがたくさんあり、大変有意義なものですが、自分で教職教養などの筆記試験対策も必要で、私にとってそのバランスの確保が難しかったです。特にサマー・セミナーではリーダーとして学生をまとめる一方で自分の勉強時間も必要なので、サマー・セミナーにおいて今日はここまで進める、採用試験に関しては、今日はここまで勉強する、と1日の目標を決めて、時間を決めて集中することで様々な経験と両立ができたと思います。

以上が、私自身が採用試験に向けて準備していた中で最も大切なもののうちの2つだと感じたものです。正直、自分自身採用試験に合格できるとは思っていませんでした。しかし、いまこの目標をひとつ達成できました。本当に頑張ったよかったです。しかしここで慢心せず、ここからが本当のスタートなので私自身もしっかりと頑張ろうと思います。これから採用試験を受ける方も是非精一杯頑張ってもらいたいと思います。

最後になりますが、私のモットーは、” Go for it!” です。関西外大のキャッチフレーズでもあるこの言葉は本当に私の支えになりました。単に「頑張る」といっても、” Go for it!” には目標をしっかりと定めてそこに向かって努力する、邁進するという意味があると思います。採用試験合格という直近の目標に向かって、” Go for it!” してください。

西川 優希 さん 千葉県 中・高校 英語科 合格

外国語学部 英米語学科 4 回生

「ボランティアが自信に」

皆さん、こんにちは。今年無事に千葉県の中学校高等学校で合格をいただくことができました。まず、これまでに様々なサポートをしてくださった先生方、教職教育センターの方々、先輩方、そしてずっと一緒に勉強してきた仲間たちには、本当に感謝しています。この場をお借りしてお礼申し上げます。

ここでは、教員採用試験までの過ごし方について述べたいと思います。私は2回生の頃から様々なボランティア活動に参加してきました。摂津市教育センターで不登校の児童生徒の支援をしたり、門真市の中学生英語スピーチコンテストの補助など、たくさんを経験させていただきました。中でも勉強になったのが、「いきいき事業平野小学校」と「KTAP」です。

「いきいき事業平野小学校」では月に一度、小学生を対象に英語を教えています。いろんなアクティビティを考えたり、指導案の作り方、児童との接し方、保護者の対応法など学んだことは数えきれません。そして「KTAP」では週に一度、実際の教育現場に行き、授業補助をして、教育実習の予行練習のようなことを経験させていただきました。

ここまで長々と書きましたが、私が皆さんに言いたいことは一つです。「教職教育センターに行きなさい」。教職教育センターへ行くと、たくさんのボランティア活動を紹介していただけます。ボランティア活動をすることで、上に述べたようなことが経験できますし、同じ教職を目指す先輩や仲間ができ、多くの情報が(教育実習に関しても採用試験に関しても)入ってきます。また、「自分はこれまでにこれだけのことをやってきたのだ」と自信がつきます。そうすると、リラックスして採用試験に臨めます。

最後になりましたが、これから教員採用試験を受ける皆さん、心から応援しています。私も来年から教員1年生として、これまでに学んだことを活かして精進していきます。共にがんばりましょう！

松田 和歩 さん

兵庫県 中学校 英語科 合格

国際言語学部 国際コミュニケーション学科 平成26年3月 卒業

If you can dream it, you can do it!!!

皆さん、こんにちは。この度、兵庫県の中学校で合格をいただくことができました。驚きと、嬉しさと、感謝の気持ちで今は胸がいっぱいです。振り返ると私のこの合格は、いつも夢を応援してくれた家族の存在、互いに刺激し支え合えた仲間や、最後まで信じて力を貸してくださった先生方・先輩方との出会いがあったからだと思います。本当に、感謝、感謝です。ありがとうございました。ここでは、採用試験に臨むにあたり、私が大切にしてきたことを3点述べたいと思います。

1 「ポジティブな集団の中に身を置くこと」

私は科目等履修生なので、周りに同級生や知っている人がほとんどおらず、去年の今頃は独りで勉強していました。しかし独りでいると、弱気なことばかり考えてしまいます。私は自分をポジティブ思考に変えなければと思い、とにかくサイスペに顔を出しました。同じ目標に向かって頑張る人が集まるサイスペは、常に前向きな言葉で溢れていました。そんな言葉をたくさん浴びて、はじめは意識的だったかもしれませんが、次第に「よーし！ やってやるぞ！」という気持ちが私にも自然に湧いてくるようになっていました。そしていつの間にか、帰りのバスでも参考書を開いて互いに問題を出し合ったり、1次試験が近づく頃にはもっと皆と勉強したい、という気持ちさえ生まれていました。彼らとの出会いが、最後の踏ん張りに繋がったのだと思っています。

2 「自分の学習スタイルを確立すること」

勉強の仕方は人それぞれだと思います。私の場合は、参考書をまとめるよりも、とにかく実際に問題を解いて書き込んでいく方が合っている気がしました。そして何度も出てくる部分はルーズリーフにまとめ、毎日見直すという形をとりました。分厚くなっていくルーズリーフの束を見ると、できた！ という達成感と、これだけやってきたから大丈夫！ という安心感、勉強する楽しさも見い出せました。

また、怠けなくなった時や不安な時には、図書館に行きました。必ず誰かが机に向かっている姿を目にし、刺激を受けて私も頑張れたのです。学校ボランティアや塾のアルバイトで、子供たちの無邪気な笑顔とたわいない会話にパワーをもらって、家に帰ったらまたやろう！ とモチベーションを保つようにしました。皆さんも早く自分に合った学習方法を見つけ、実のある学習ができるといいですね。

3 「自分らしさを見失わないこと」

これは特に、模擬授業・面接においてです。周りを見ると、バリバリ英語ができる人、話すのが上手な人、経験豊富な人、そんな人達ばかりに思えてきて押し潰されそうになります。しかしそんな時、いつも西村先生が“Don't compare!”と言いつつ聞かせてくださっていました。人には人の、私には私の、皆さんには皆さんの良さがあると思います。本当にみんな違ってみんないい、色んな教師がいていいと私は信じています。面接室のドアをノックする前、怖くて足が震えました。一呼吸置き、今の私にできる精一杯を出せばいい、素直に今の私の価値観を見てもらおう！ と言いつつ聞かせることで、心を落ち着かせて臨むことができました。面接官も繕った姿ではなく、ありのままの皆さんを一番素敵で魅力的だと感じてくれるはずですよ。

最後にサイスペで頂いた言葉の抜粋ですが、『できるできる。私の願望は必ず達成できる。うまくいくと信じきって、具体的に行動すれば必ず道は開けてくる。』毎日心で唱えると、やらなければならないことが見えてきます。皆さんならできる！と信じています。応援しています。私も膨らんだ新たな夢に向けて、スタートします。

墨 輝 さん 大阪府 中学校 英語科 合格

外国語学部 英米語学科 平成22年3月卒業 岸和田市立桜台中学校専任講師

『日々精進』

皆さんこんにちは。私は平成22年度に関西外国語大学を卒業し、2年間の科目等履修生を終えて、平成24年度から岸和田市の桜台中学校で講師として働いて3年目になります。そして今年の大阪府教職員採用試験でやっと合格することができました。今回は私が経験してきたことや、学んだことを皆さんにお伝えし、少しでも力になればと思います、これを書かせていただきました。

私の1年目は常勤講師で1年生の副担任として始まりました。大学も卒業したところで学校のことはほとんど何もわかっていない状態でした。しかし1年目だとか、講師だとかは生徒達にとっては関係なく、先生に変わりはないので、その点自分は自覚というものが欠けていたと思います。

そしてその夏の教員採用試験では何の勉強もできていなかったのももちろんダメでした。

1年目に私が頑張ったことは積極的に生徒と関わっていくことと、どれだけわかりやすく授業を進めるかということでした。

積極的に生徒と関わることで、生徒の変化に気付くことができ、生徒との関係づくりに役立つからです。休み時間などは、職員室にいないようにして各教室などを回ったりして生徒達と何気ない話をしていました。その何気ない話のなかから、生徒間の関係がわかり、いろんな情報が入ってきます。その情報が指導面などで役立ったこともあったので、教師になれる方にはおすすめです。

わかりやすい授業づくりに関しては教材研究や、生徒に今日の授業のどこがわかりにくかったかなどを毎回聞いて、改良していきました。

1年目頑張った甲斐があっただけか、2年目も同じ学校で、そしてそのまま持ち上がって2年生の担任と学年生徒指導になりました。2年目はとにかくしんどいことの連続でしたが、しんどいことから逃げずに正面からぶつかっていきました。生徒指導という立場から生徒から避けられるということもありましたが1年目からやってきたことは曲げずにやりつづけました。

そんな中で挑んだ2回目の採用試験も僕はダメでした。なんでここまで頑張っているのにアカンねん！と思うこともありましたが自分に何かが足りていないだとか、面接の際に、自分の伝え方がうまくなくて面接官の方に響かなかったからだと思いました。

そして今年はまた持ち上がって3年生の担任と学年生徒指導を引き続きやっています。3年生の担任と学年生徒指導をやることはとてもしんどいことです。しかし少しでも時間を作って教員採用試験への準備をしました。自分がやってきたことや自分の信念などをしっかりまとめて面接に臨みました。その甲斐があっただけか、今年の大阪府の教員採用試験に合格することができました。

今年合格された方はおめでとうございます！今年不合格だった方はとにかく来年で合格できるように講師になっていろんな経験を積んでください。講師として働く際は何か目標を作って頑張ってください。それが来年の面接に必ず役に立ちます。教師という仕事はとてもしんどいですが、やりがいのある仕事です。ただなんとなく教師として過ごすのではなく、どんどん生徒達と関わって行ってください。するとしんどい仕事でも頑張れると思います。教師になられた方は毎日が勉強だと思います。私も毎日が勉強です。一日一日を大切にしてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみに待っています。長々と失礼しました。

細川 由美 さん 大阪府 中学校 英語科 合格

外国語学部 英米語学科 科目等履修生

BIG LOVE !

こんにちは。大阪府採用試験合格しました。せっかく羅針盤を書く機会を頂いたので私の教職の道を振り返りたいと思います。

博多女子高等学校、高校3年生、受験時、私は東京の神田外国語大学を推薦入試で受験しました。落ちました。東京の北千住に住んで、毎日荒川の土手を歩くという私の夢は破れました。とにかく福岡から旅立ってみたかったので、次に関西外国語大学を一般入試で受けました。あの時にあの選択をくださった私を褒めてあげたいです。大学で何気無く取った教職は、どの授業もとても楽しかったです。今まで小中高と、どの先生も好きでしたが、大学で一番好きだと言える先生方に会えました。網倉先生の教職概論は、毎授業興味深く、ワクワクしました。北條先生の人権問題論では、尊敬できるガンジーにも出会うことができました。しかし、英語の勉強に燃えることができなかつた私は3回生の時にTOEFLの点数が足りず、教職を取ることができなくなりました。あの瞬間は私の人生で初めての挫折でした。10分くらい悔し泣きました。

そこから、半ばやけになり留学へ行きました。留学でもただただ楽しむだけでした。何も変わっていません。4回生の秋学期、皆が就職が決まって行く中、私はまだ教職を取り続けるか若干迷ってました。一度就活サイトに登録してみたのですが、どの会社にも興味が湧きませんでした。おまけに間違えて転職サイトに登録していたオチです。

しかし、その時に取っていた角野先生の授業で、やはり教職を学んでいて楽しいという気持ちを感じることができました。授業で、教育課題について自分の意見を書いて提出すると、返却時に小さな字で「君は中学校の先生が良い。はやく先生になりなさい。」と書いてありました。先生がプリントに書いた、何気ない一言がすごく嬉しかったです。写メを撮って携帯の待ち受けにもしていました。決意は固まりました。

それから2週間くらい一緒に住んでいた友達と毎日図書館に閉館までこもり、サイゼリヤでご飯を食べ、そのまま2時の店が閉まるまで勉強しました。その時英検準1級を取得することができました。

この時、人生で一番集中して勉強ができました。初めて勉強において自信がつかえました。

しかし卒業後の3月に科目等履修生になる際の面接で、面接後に呼びだされ、塩地先生、岡澤先生、並松先生から厳しいお言葉を頂きました。喋り方、ふるまい、仕草、格好、全て駄目だと言われました。自分でも思っていたことで、その時に心を入れ替える覚悟ができました。先生の話し中ずっと泣いてしまったのですが、悔しさもあったけれど、話が終わって、こんな風に大学生になっても先生から怒られるという意味を考えた時、先生方が本当に心配してくれていることに気づき、嬉しく思い頑張る気力がつきました。

そこからは福岡に帰り教育実習を終え、勉強に励んでいました。福岡の1次が終わり、そこからは枚方に住み、先生方、教職の仲間たちと充実した勉強ができました。並松先生と天王寺まで一緒に電車で帰った時は少し緊張しました。自分に自信などありませんでした。でも私は、私の周りにいる家族、友達や先生方、全ての人に恵まれている自信があります。私の力だけでは絶対に落ちていました。

結果まですごく待ち遠しく、アルバイトや、遊んでばかりでしたが、結果が出た今、これから4月まで、一人の先生として立派な大人になるため、自分に自信をつけたいと思います。そのためには英検1級取得を目標としてこれから頑張りたいと思います。

もし読んでくれている3回生の皆さんがいて...アドバイスをやるなら、外大にいる先生を信じて全力で頼たらいいと思います。最後の学生生活、最後の学生の立場、先生に甘えたらいいと思います！笑その時のあなたがそのまま駄目であれば、私みたいに教えて頂けるはずです。そしてたくさんの経験を積んで下さい！旅行ではモロッコのシャウエンという街がオススメです。

感謝の気持ちを込めて BIG LOVE

岩根 那津 さん 大阪市 中学校 英語科 合格

国際言語学部 国際言語コミュニケーション学科 平成25年3月 卒業

「絶対に合格したい！」と思い続けて

堺市の私学で1年、大阪市の公立学校で1年、合計2年間講師をしてきました。今回3度目の教員採用試験の挑戦で合格を手に入れました。安堵するのと同時にこれまで卒業してもずっと支えてきてくれた関西外国語大学の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。後輩方に何か1つでも役に立てることがあれば、という思いで4つのポイントを書かせていただきます。

①自己投資(時間とお金)

最新の過去問や専門集を買ったり講演会に行ったりする。

②学校経験

学校ボランティアや教員育成講座を受講する。学校ボランティアをすることによって、問題集に書かれた内容の引用でなく、実体験として面接で語れる。これは大変な強みになる。また、教員育成講座修了課程の人は1次試験が免除になるので、知っているのと知らないのでは大きく異なる。

③エントリーシート

まず始めに、これまで合格した人のエントリーシートを見せてもらい、どのようなエントリーシー

トがいいのか完成図を頭に入れる。次に、実際に書いてみる。必ず実体験を入れ、説得力があるかを意識する。また、この時何百枚もエントリーシートを読まなければいけない面接官のことを考え、簡潔にわかりやすく書く。(Simple is best!) 最後に、色々な先生に見てもらい、何回も書き直す。

④勉強

筆記試験…過去問を徹底的にやり込み、型を覚える。

(※記述英作は毎年同じような記事が書かれている。だから、聞かれる内容を3パターンほど(約300字)を丸暗記した⇒試験会場で1から考えなくていいので大幅な時間短縮)

英語能力シートがあるので、TOEIC、TOEFL iBT、英検など検定をたくさん受け、自分のアピールポイントを増やす。

面接試験…面接の返答パターンを何度も練習する。

※意外と知らない秘訣

大阪府・大阪市・堺市の受験

2次試験では近畿圏は必ず重なってしまうが、1次試験の場合は受験することができることもある。平成26年度の教員採用試験では、大阪市と堺市は同じ日で時間間隔があまりなかったため両方受験できなかった。しかし、大阪府は別日だったので、私は大阪市と大阪府を受験した。結果、大阪市は合格、大阪府は不合格となった。今回、もし大阪府だけに絞っていたら、私は合格を手に入れることは出来なかった。

シリーズ③ 「心の窓を少し開いて！」

【やる気・根気・元気は「生きる力」の基本】

子どもにつけたい3つの「気」があります。それは、「やる気」「根気」「元気」です。何事も「やる気」が一番大切です。食事も食欲がないといくらご馳走を出されてもすすみません。それと、じっくり物事に取り組むには「根気」もいります。また、心身の安定は「元気」からです。望ましい子ども像として、この3つの「気」を「生きる力」の基本に据えたいと思います。

ところで「生きる力」とは何でしょうか。学習指導要領では、「確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体のバランスのとれた力」とされています。

海外で生活するとき「生きる力」として求められるのは次の3つと言われます。

それは、

- ① 現地の食べ物を好き嫌い無く何でも食べられること
- ② 誰とでも友だちになれること
- ③ 何処ででも眠られることです。

そのためには、幼い頃から「自分のことは自分でできる」ことや「人のために役に立つことができる」力を身につけておくことが重要になります。

野生のイノシシには、家畜のブタにはない3つの力があります。

それは、

- ① 獲物を捕る力
- ② 敵や病気・自然災害などの危険から身を避ける力
- ③ 群れの中で過ごす力です。

家畜のブタは、

- ① エサを与えられ
- ② 豚舎に住み
- ③ 群れなくても生きていける環境にあります。

人間に依存する存在なので生きていけるのです。

子どもがどんなときに「生きる力」＝やる気・根気・元気を発揮するかを聞き取ったアンケート結果があります。そのポイントは、

- 役割を持って活動に参加しているとき
 - はっきりとした目標が決まったとき
 - その目標が達成できたとき
 - 学習が自分の成長につながる時
 - 物事への興味や関心が持てる時
 - 友だちや仲間がいる時
 - 感激や達成感を味わった時
 - 創意工夫の余地がある時
 - 途中でフィードバックができる時
 - 背伸びして少し難しいことに挑戦する時
 - 結果をほめ、感謝し、励ます指導者がいる時
 - フェイス トゥ フェイスで交流する機会を持つ時
- などでした。

編集後記——教職教育センターより——

急に朝晩冷え込んできましたね。そろそろ暖房器具が必要かな…と、こたつに魅了される季節が近づいてきました。最も人間をダメにする（ほど素晴らしい）発明品のうちのひとつと言われているこたつですが、皆さんのお家にはこたつはありますか。最近は一人用のこたつも販売されていますので、更なる発明として、リュックサック型のこたつがあればいいのではないかと思います。背中がやけどしない程度で軽い物、かつ全身を覆う薄い布団がついていれば、暖かさと共に移動できるので、眠気に襲われ動けなくなるという難点も解消できます。もしかして既に開発されているのでしょうか。